

# TOSHIBA

販売店・工事店さま用



## 東芝レンジフードファン取付説明書

形 **VFR-63Fタイプ, VFR-73Fタイプ, VFR-93Fタイプ**  
名 **VFR-64Fタイプ, VFR-74Fタイプ, VFR-94Fタイプ**

- このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。(形名により図が一部異なります。)
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。(詳しくは、カタログをごらんください。)



### 安全上のご注意

- 取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と、意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。









\* 物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 図記号の例






図記号	図記号の意味
 改造禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

## ⚠ 警告

 改造禁止	<b>改造はしないこと</b> 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	<b>修理技術者以外の方は分解、修理(※)をしないこと</b> 火災・感電・けがの原因になります。※修理は、お買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	<b>アースは、確実に取り付けること</b> 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	<b>メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合や本体を取り付ける場合、金属製ダクトや本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないこと</b> 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
 取付禁止	<b>内釜式風呂を設置した住宅には取り付けないこと</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 吸気を確実に	<b>自然排気型ストーブがある部屋に据え付けるときは、ドアなどに空気取り入れ口をつけること</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 交流100V使用	<b>電源は交流100Vを使うこと</b> 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
	<b>包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管すること</b> 頭からかぶるなどすると、口や、鼻を塞ぎ窒息する原因になります。

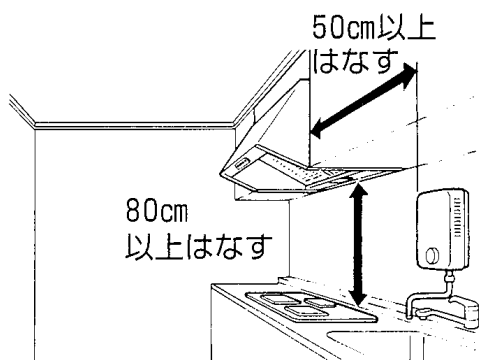
## ⚠ 注意

 確実に取りつける	<b>前板、フィルターや部品は確実に取り付けること</b> 落下により、けがをする原因になります。
 確実に取りつける	<b>強度のある場所に、確実に取り付けること</b> 落下により、けがをする原因になります。
 電気工事士が実施	<b>電気工事・アース工事は、電気工事士(※)が行うこと</b> 電気工事士以外の方が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。※電気工事士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。
 使用禁止	<b>浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと</b> 感電および故障の原因になります。
 接触禁止	<b>運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと</b> けがの原因になります。

# お願い

- ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。

火災予防条例では、80cm以上必要です。



- 湯沸器は、50cm以上横に離して取り付けてください。

50cm以下ですと、高温により故障の原因になります。

- 取付工事は地域により、防災上での制限があります。

関連法規に従って施工してください。

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。

- 取付工事は手袋をして行ってください。

- 周囲温度が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。

故障の原因になります。

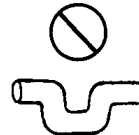
- 全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。

- 次のようなダクト工事はしないでください。

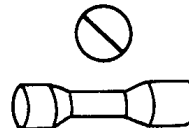
(1) 極端な曲げ



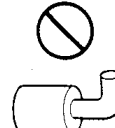
(2) 多数回の曲げ



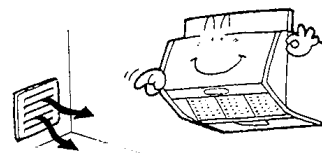
(3) 接続ダクト径を  
極端に小さくする



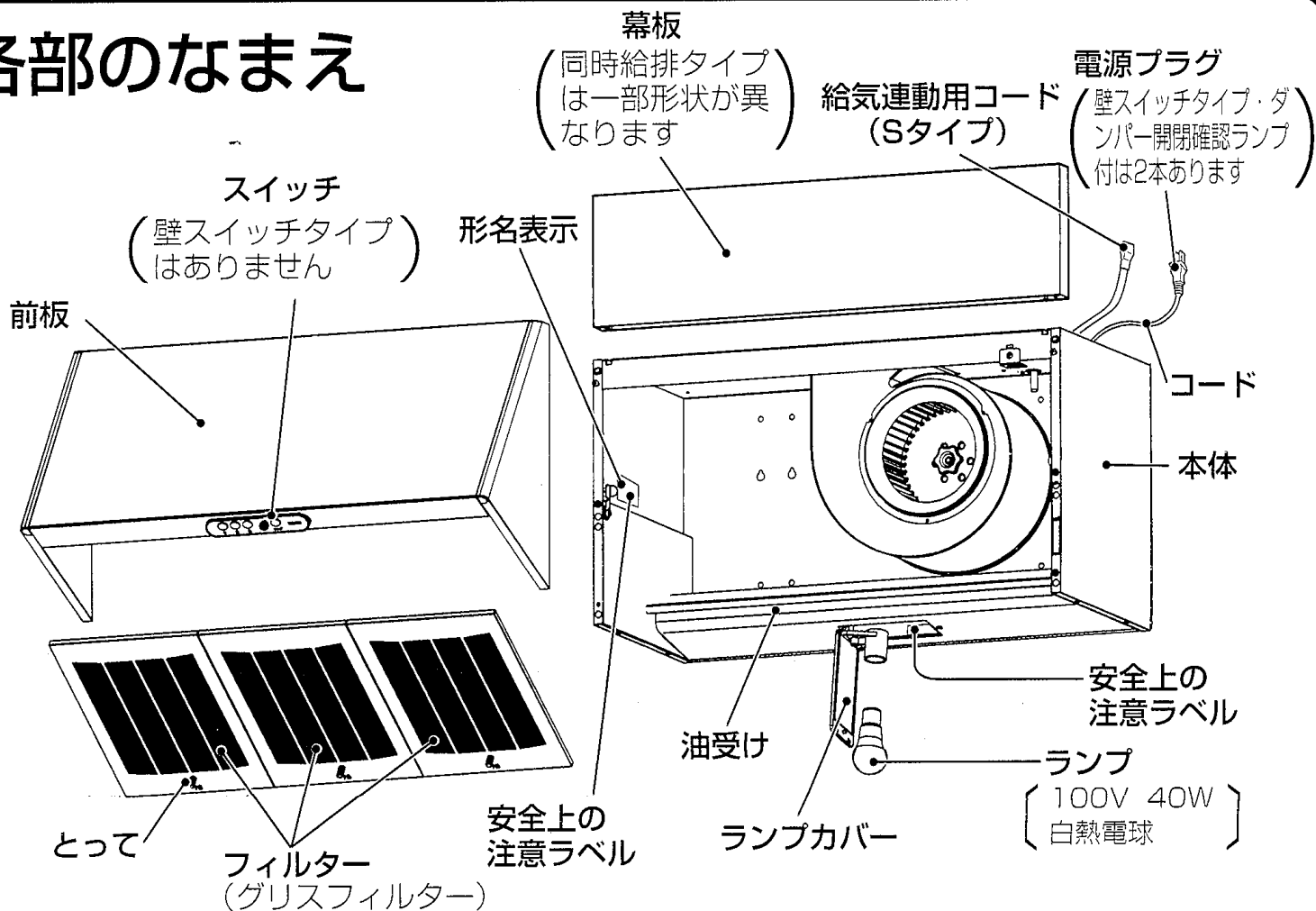
(4) 吐出口のすぐ  
そばでの曲げ



- 効率よく排気させるため空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。



# 各部のなまえ



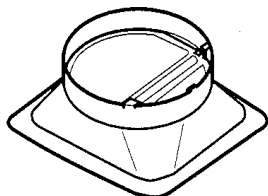
## 付属品

木ねじ (6本)



本体固定用

排気口



ねじ (4本)



排気口固定用

ソフトテープ



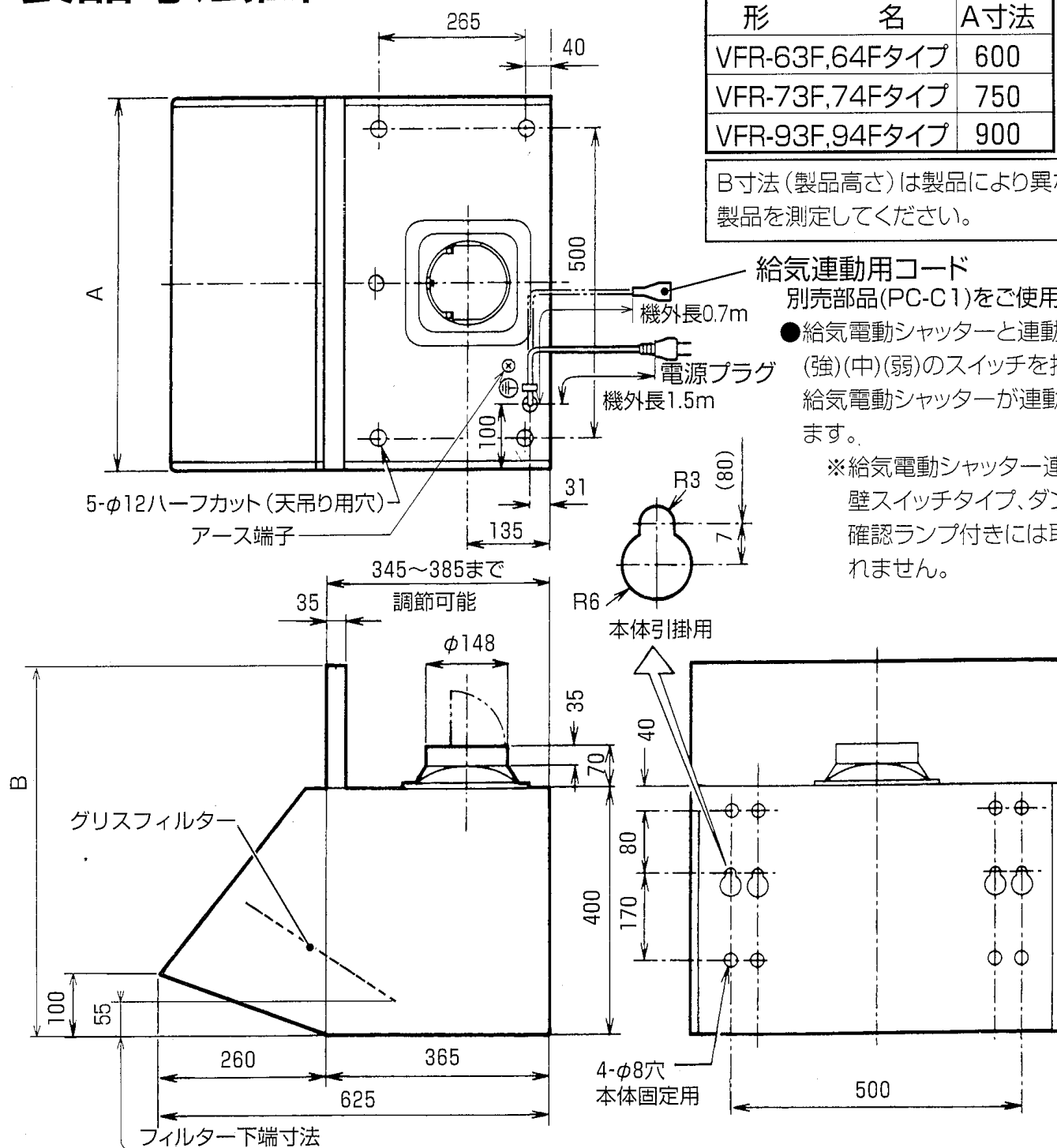
排気口とダクトとのスキマふさぎ用

# 製品寸法図

単位:mm

形 名	A寸法
VFR-63F,64Fタイプ	600
VFR-73F,74Fタイプ	750
VFR-93F,94Fタイプ	900

B寸法(製品高さ)は製品により異なります。  
製品を測定してください。

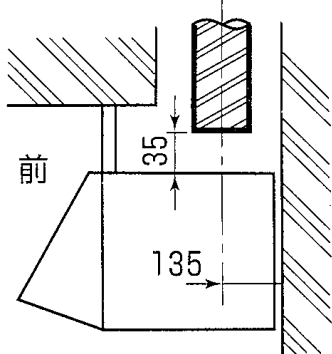


# 取付方法

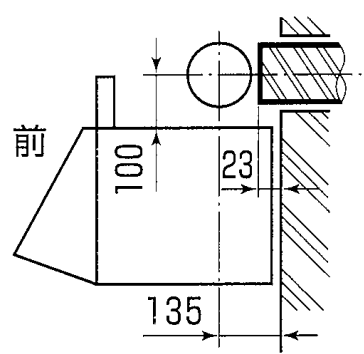
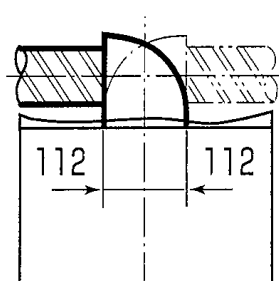
## 取り付け前の準備

- (1) 製品寸法図を参照して、壁穴をあけてください。
- (2) 排気方向が後部、右側、左側の場合は、直角ジョイントRLJ-6 (別売部品) をご使用願います。
- (3) ダクト (φ150スパイラルダクト) を下図の位置に配管します。

### 上排気の場合



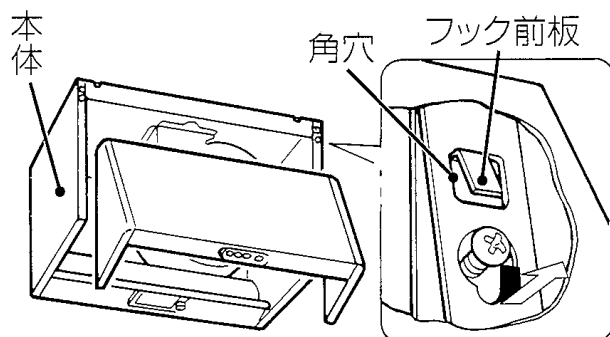
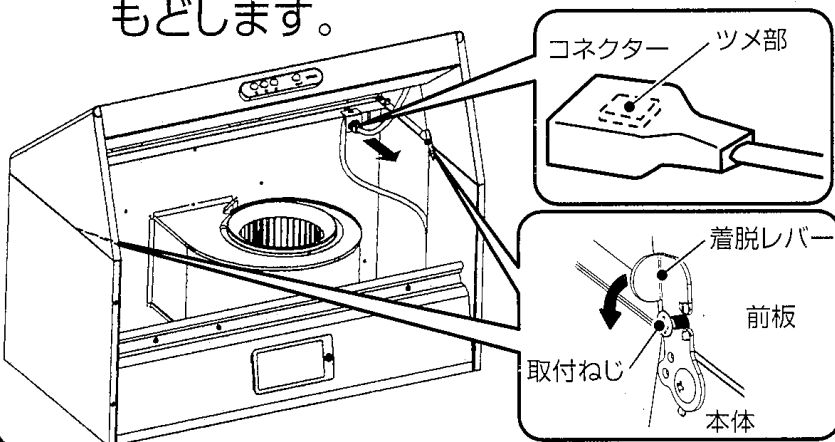
### 後部、右側、左側排気の場合



## 前板のはずし方

- (1) コネクターをはずします。ツメ部を押しながら手前に引きはずします。
- (2) 取付ねじ (左右2カ所) を4~5mm もどします。

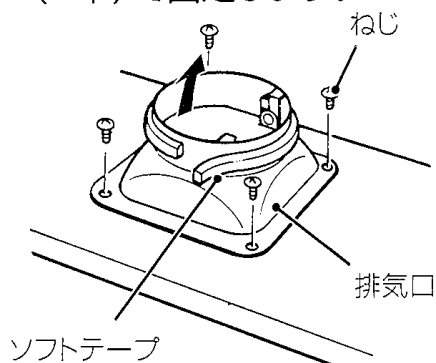
- (3) 着脱レバー (左右2カ所) を後方へ回します。
- (4) 前板を少し下げ、角穴をフックよりはずし、前へ引いてはずします。



# 排気部品の準備

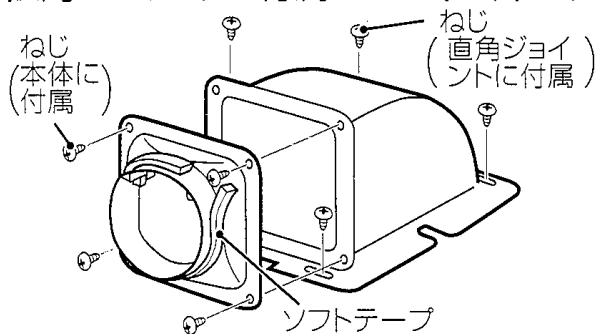
## 上排気の場合

- (1) 排気口に、付属のソフトテープを貼ります。
- (2) 本体に排気口を付属のねじ（4本）で固定します。



## 後部、右側、左側排気の場合

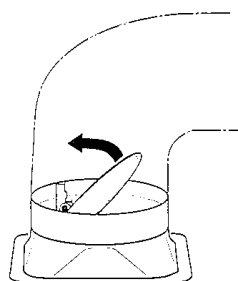
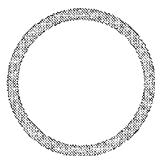
- (1) 排気口に付属のソフトテープを貼ります。
- (2) 別売部品の直角ジョイントに付属のねじ（4本）で固定します。
- (3) 本体に、直角ジョイントを付属のねじ（4本）で固定します。



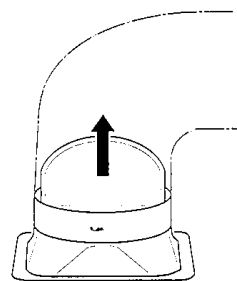
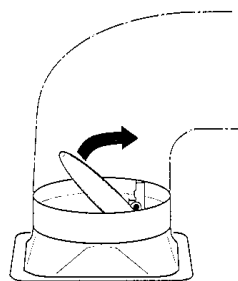
## ご注意

別売部品の直角ジョイントを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して後部、右側、左側排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因になります。

正しい接続例



誤った接続例

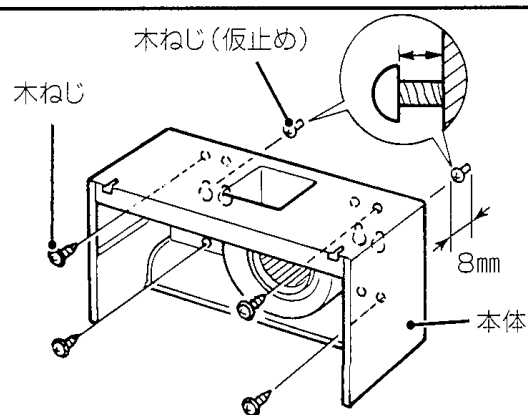


# 本体の取り付け方

取り付けの前に取り付け部の強度をお確かめください。取り付け部が弱いと落下、振動、騒音の原因になります。

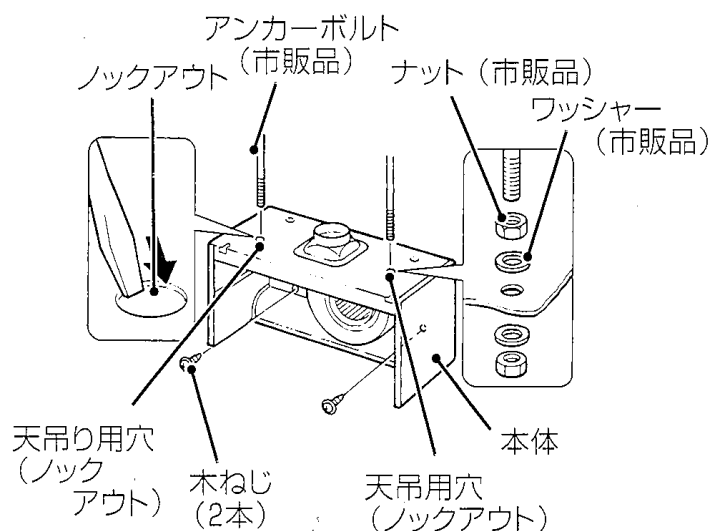
## 壁取り付けの場合

- (1) 製品寸法図を参照して、壁面に付属の木ねじ(2本)を仮取り付けします。
- (2) 本体を木ねじに引掛けます。
- (3) 本体内側より付属の木ねじ(4本)で固定します。



## 天井取付の場合

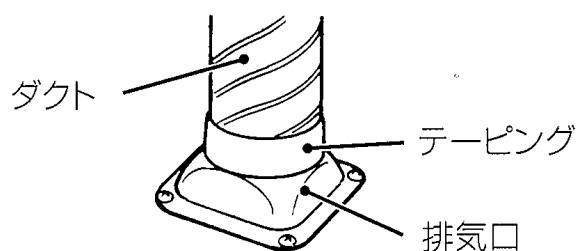
- (1) 製品寸法図を参照して、天井にアンカーボルト(M10)を埋め込みます。
- (2) 本体の天吊り用穴(2カ所)のノックアウト部を打ち抜きます。
- (3) 市販のナット(M10)とワッシャー(M10用)にて、本体をアンカーボルトに固定します。
- (4) 本体内側より付属の木ねじ(2本)で壁に本体を固定します。





## ダクト（パイプ）の取り付け方

排気口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで、風漏れのないようテーピングします。

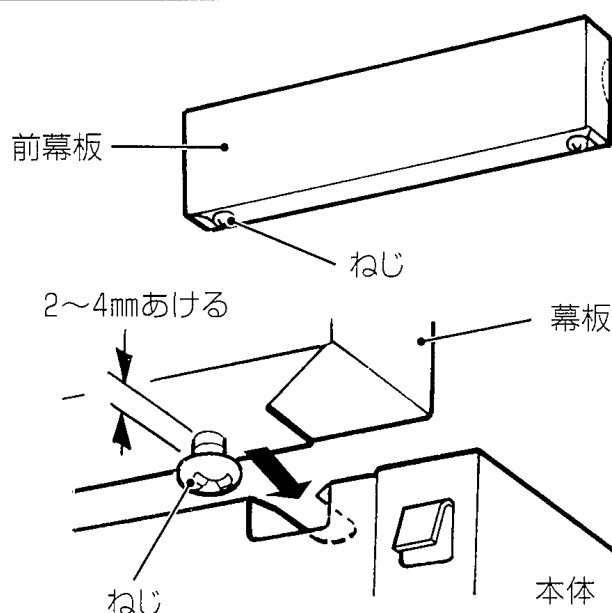


## アースおよび電源の接続

- (1) 本体天面のアース端子を使用してアース工事します。
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

## 前幕板の取り付け方

- (1) 前幕板に固定している、ねじ（2本）を2～4mmもどします。
- (2) 本体前面より差し込みます。
- (3) 吊り戸棚の位置に合わせたら、本体下部よりドライバーでねじを固定します。

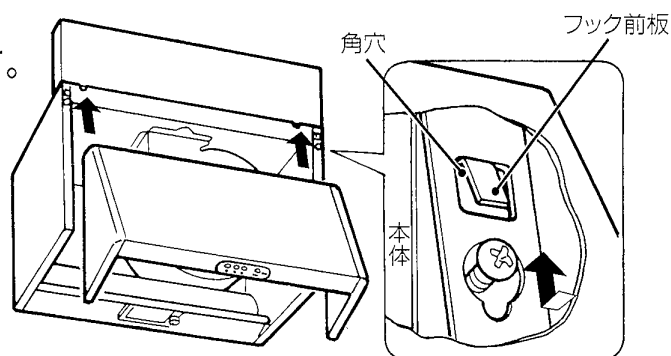


# 前板の取り付け方

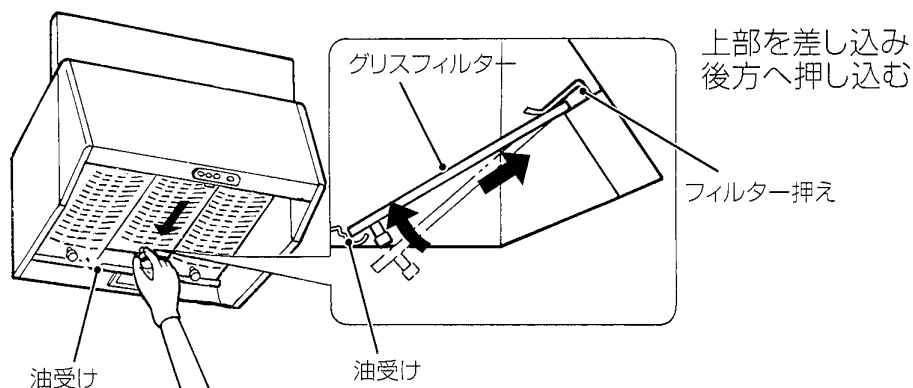
前板のはずし方と逆の順序でおこなってください。

- (1) 前板の上部を本体へ差し込みます。
- (2) 前板を、前へ押し固定します。
- (3) 着脱レバー（左右2カ所）を前方に回し、取付ねじを確実に溝に入れます。
- (4) 取付ねじ（左右2カ所）をドライバーで締付けて固定します。
- (5) コネクターを取り付けます。
- (6) 手元へ、軽く引っ張り、前板の固定が確実か確かめます。  
抜けてこなければ完了です。

フックに角穴を入れ  
上へ押します。



# グリスフィルターの取り付け方



形名でのグリスフィルターの枚数

VFR-63F,64Fタイプ	VFR-73F,74F,93F,94Fタイプ

# 試運転

以上で取り付け完了です。

つぎの点検をおこない、異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと
- シャッターの開閉が正常なこと